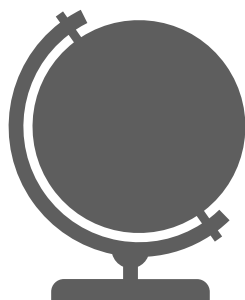


マイルが気になりだしたら

いちばん**最初**に読む**本**



マイルの教室

目次

はじめに	P. 3
1. マイルとは？	P. 7
2. マイルの貯め方	P. 30
3. マイルの使い方	P. 52
4. マイルの可能性	P. 65

はじめに

「ハワイに行きたいけど、飛行機代が高くて」。

普段忙しく働いている友人から、そんな相談を受けました。

近々、久しぶりのお休みが取れそうなので、家族4人揃っての海外旅行を計画している。

だけでも、人気の観光地だけあって週末は予約が混んでいて、家族全員を連れていくとなると、飛行機のチケット代やホテル代も気になる、という悩みでした。

最近では、日本でもLCCの拡大により、手軽に格安な空の移動ができるようになってきました。

とはいえ、既存の航空会社に比べると、まだまだ路線が少なく、お目当の目的地までたどり着くまでには複数のLCCの乗り継ぎが必要になる場合があります。

また、価格を低く抑えることができる一方で、LCCでの移動には多くの制限があります。

狭い座席シート、発着時間の遅れ、機内持ち込み荷物の重量制限など、多くの我慢を強いられることにもなります。

旅行の「価格」と「質」の上手なバランスの取り方は、旅行の満足感やワクワク感に大きく影響するのです。

実は、こういった悩みは、概ね「マイル」を利用することで解消することができます。

実際に、私も友人にアドバイスする時にはマイルを利用することをオススメしています。

そうすることで、飛行機代を抑えることができるだけでなく、上質で快適な空の旅を実現することが可能になるのです。

「旅の三大費用」というものがあります。

- 1、飛行機代
- 2、ホテル代
- 3、レストラン代

海外旅行に出かける際に、割合が最も多いの費用として上記3つを考えることができます。

仮に、ハワイ旅行で「1、飛行機代」（約10万円）がなくなっただけの場合を考えてみてください。

浮いた分の10万円分を、残りの「2、ホテル代」「3、レストラン代」に振り分けることができます。

いつもより贅沢なホテルに宿泊したり、宿泊日数を延ばしたり、ディナーを豪華にしたりできるかもしれません。

このように、「飛行機代」を気にする必要がなくなれば、旅行の選択肢が広がります。

その分、新しい冒険をすることも可能になるのです。

そして、仮にこのうちの「飛行機代」が無料になれば、いつもより上質なホテルに泊まったり、贅沢なディナーにしたり、あるいはもっと頻繁に旅行したり、1回の旅行の期間を長くしたり、もしくは贅沢なフライトにしたり、ゆっくり楽しむこともできる。

「マイル」をたくさん貯めることで、飛行機代を無料にすることが可能になります。

しかも、LCCではなく一流の航空会社での空の移動を可能にしてくれます。

マイルがたくさんあれば、これまでにできなかったがグジュアリーな空間とサービスを体験しながら、空の旅を満喫できるようになります。

マイルがたくさんあれば、飛行機代を気にせずに旅行に出かけることができます。

空の移動時間の質を落とさずに、旅のコストを下げるという2つのメリットを享受することができます。

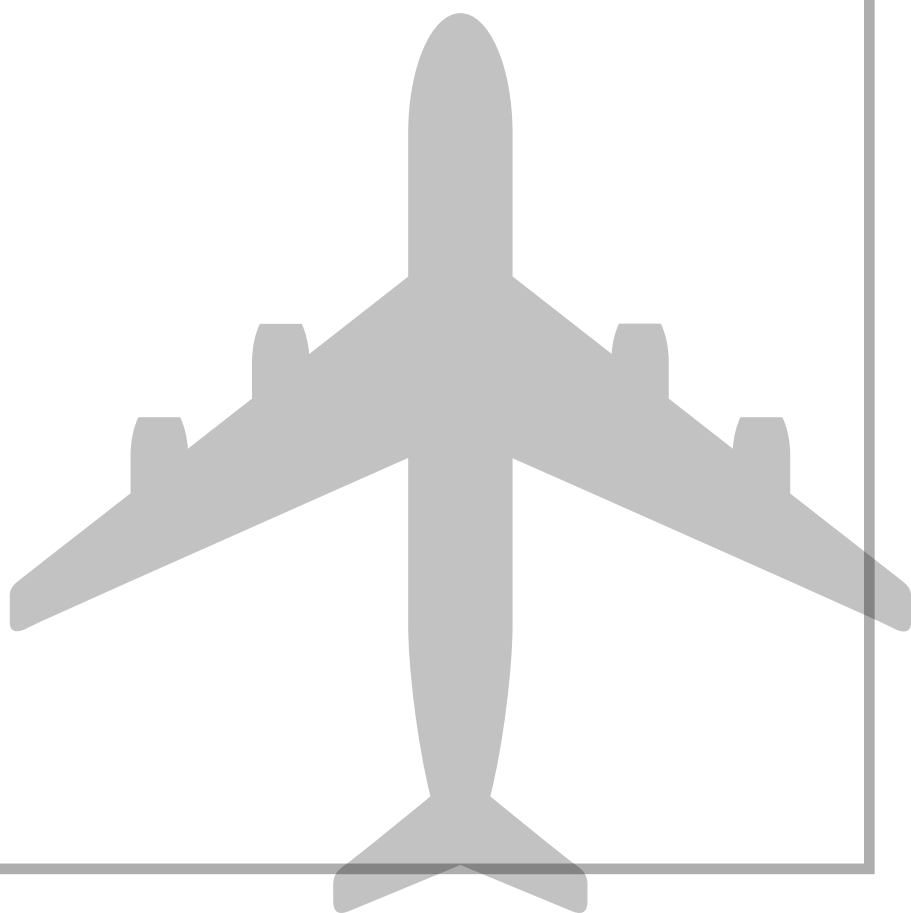
本書は、なぜマイルを使うと旅行が楽しくなるのか？という問いに答えていきます。

そして、マイルを上手に貯める方法についても、その基本から触れていきます。

事例を通じてマイルの貯め方の全体像と本質、いわゆる“勘所”を整理してお伝えできれば、と思います。

第1章

マイルとは？



マイルとは？

マイルとは何でしょうか？

マイルと聞いてどんなイメージがするのでしょうか？

マイルがとっつきにくい、何から手をつければいいのかわからない理由として、航空会社ごとに異なる制度や、インターネット上に溢れる膨大な情報などが理由にあるかと思えます。

さらに、初めてマイルに取り組む人が、マイルについて理解するのを難しくしている要因として、情報が「整理されていない」ということが挙げられます。

「整理されていない」ために、重要な情報を見分けることができず

まずはマイルに関しての全体像を知ることが大切です。

全体像を知ることによって、足りない知識はどの部分なのかを把握することができます。

そして今後自分で情報収集する際の道しるべとなります。

マイルを理解しやすくする3つの分野と順番

マイルの全体像を把握するためには、以下の3つの分野に分けるのが効果的です。

さらに、以下で紹介するような順番で勉強・実践すると整理・理解しやすく、結果的に全体像も把握しやすくなるのです。

- 1、マイルの仕組みとルールを知る
- 2、マイルの貯め方を知る
- 3、マイルの使い方を知る

インターネット上にあふれている情報を閲覧する時には、自分なりにこの3分野に分けて整理しながら情報収集することをオススメします。

- 1、マイルの仕組みとルールを知る
↓
- 2、マイルを貯める
↓
- 3、マイルを使う

この3分野と順番をするだけで、マイルの知識は格段に身につつきやすいものになります。

1、マイルの仕組みとルールを知る

まずは、マイルとは何か、という基本的な

- ・仕組み
- ・ルール

を理解することが必要です。

なぜなら、「仕組み」「ルール」の2つの理解なしでは、その後実践する効率的な「貯め方」や「使い方」ができないからです。

基本的な「仕組み」「ルール」を抑えることで、自分に適した実践方法を選択できるようになります。

簡単にいうと、マイルとは各航空会社の「ポイント」であり、マイレージとはポイントを運用する「ポイント制度」ということができます。

さらに、この「ポイント」をたくさん貯めることで、飛行機に無料で乗ることが可能になるという仕組みです。

当然、ポイント制度ですから「ルール」があり、この「ルール」に従っての効率的な「貯め方」「使い方」を選択していくことになります。

マイルの理解を遠ざける理由

そして、全ての航空会社が「同じルールで運用していない」ということがあり、このことがマイルの理解を遠ざける大きな要因となっています。

例えば、

- ・マイルの積算率
- ・座席クラスごとの必要マイル数
- ・目的地までの必要マイル数

などが少しずつ異なるのです。

つまり、航空会社によって

- ・マイレージプログラムのルール
- ・マイルの貯め方
- ・マイルの使い方

が異なるということになります。

2、マイルの貯め方を知る

マイルの基本的な「ルール」と「仕組み」を理解したら、次に、マイルの効率的な「貯め方」についての知識を身につけていきます。

マイルの「貯め方」は無限にあります。その中からできるだけ労力や時間やお金をかけずに、効率的なマイルの貯め方を選択していくことになります。

なお、マイルの「貯め方」と「使い方」に関しては、別の分野として知識をインプットする必要があります。なぜなら、できるだけ「効率的に」という方向性は同じですが、マイルを「貯める」場合と「使う」場合では全く別の「ルール」が適用されるからです。

ちなみに、上記3つの分野を意識して情報収集・整理しようとする、インターネット上にある情報の7割がたはマイルの「貯め方」に関するものだということがわかります。

3、マイルの使い方を知る

最後に、マイルの効果的な「使い方」に関する知識を身につけます。

マイルの最も効率的な「使い方」は、「貯め方」に比べて少々複雑になります。

マイルがたくさんあれば、フライト代が無料になるわけですが、実は、この「使い方」に関する賢い使い方が求められるのです。

せっかく貯めたマイルですから、よりお得にサービスを受できるように利用したいものです。

- ・より少ないマイルを使って、
- ・より遠くの目的地へ、
- ・より上質なサービスを得られるように、

道を探っていくのです。

「マイル」と「マイレージ」の違いとは？

では、そもそも「マイル」とは何なのでしょう？
よく似た言葉に「マイレージ」という言葉があります。

- ・マイル
- ・マイレージ

この2つの違いを明らかにすることで、「マイル」の本質について理解できるようになります。

まずは、「マイレージ」という言葉についてです。

「マイレージプログラム」とも呼ばれることもあります。
一言で表すと、これはエアラインの「ポイント制度」のことです。

世界には数え切れないほどの航空会社があります。

そして、それぞれが独自のポイント制度を運用しています。
このポイント制度のことを「マイレージプログラム」といいます。

そして、飛行機に乗ることでその航空会社のポイントが貯まります。

このポイントのことを「マイル」というのです。

この「ポイント」＝「マイル」が

- ・たくさんあればあるほど、飛行機で遠くの目的地まで行ける
- ・たくさんあればあるほど、上質なサービスを受けられる

ということになります。

先ほどもお伝えしましたが、「マイル」の複雑なところは、それを運用している航空会社によって、

- ・マイルの積算率
- ・座席クラスごとの必要マイル数
- ・目的地までの必要マイル数

などが少しずつ異なることです。

つまり、航空会社によって

- ・マイレージプログラムのルール
- ・マイルの貯め方
- ・マイルの使い方

が異なるということになります。

全ての航空会社が同じルールで運用していないという部分が、マイルを理解するのを遠ざけている大きな理由です。

マイルが貯まると何ができる？

マイルには大きく分けて2つのメリットがあります。

- 1.未知の体験が可能になる
- 2.旅費の節約が可能になる

1.未知の体験が可能になる

1つ目のメリットです。

マイルを使うことで、飛行機の移動において、これまでにできなかった、ワンランク上の上質なサービスを体験できるようになることです。

例えば、飛行機の国際線には、通常、エコノミークラス、ビジネスクラス、ファーストクラスというクラス分けがされています。

エコノミークラスの場合、低価格で目的地まで移動が可能な反面、比較的狭い座席配置のため長距離路線では、座っているだけで疲労を感じることもあるかもしれません。

一方で、ファーストクラスを選択すると、高級ホテルにも匹敵するような快適なサービスを受けられます。

また、チェックインのために長蛇の列に並ぶことなく、専用のカウンターですぐにチェックインできます。

フライトの前にはラウンジでゆったり過ごし、優先搭乗で待たずに飛行機に乗ることができるようになります。

さらに、フルフラットシートで足を伸ばしながら、広々としたフルフラットのシートでくつろぎながら、CAからのおもてなしを受けつつ、美味しい料理とお酒で空の旅を楽しむことも可能です。

しかし当然ながら、それだけのサービスを受けるには、価格も高くなります。

選択するエアラインと目的地までの距離にもよりますが、往復で数百万円を超えることもあります。

一般人にはまず手の出ない値段です。

このような場合、マイルを利用することで、普段の生活では体験することができないような上質のサービスを気軽に体験することが可能になるのです。

2.旅費の節約ができる

2つ目のメリットです。

マイルを使うことで、格安またはほぼ無料で空の移動ができるようになります。

先ほど紹介した旅の三大費用（飛行機代、ホテル代、レストラン代）のうち、飛行機が支払う必要がなくなると仮定します。

すると、単純計算で旅費を三分の二に抑えることができるようになります。

このツメリットは、特にヨーロッパや北米を目的地としている場合には大きな効果を発揮します。

さらに、家族旅行など、人数が多い場合にも、節約の効果は絶大になり、1度の旅行で十数万円～数十万円の節約に繋がります。。

上記で紹介したのは、「未知の体験」「旅費の節約」という「物理的」なメリットです。

これら物理的メリットは心理的メリットももたらしてくれます。

物理的に旅行のハードルが下がることで、心理的にも余裕が出てきます。

大好きな旅行を、ますます楽しく、より気軽に楽しめるようになるからです。

マイルが貯まるとどんなことができる？

では、マイルが貯まると、具体的にどんなことが可能になるのでしょうか？

以下では、日系の代表的なエアラインのANAの例で考えてみましょう。

マイルは、航空会社の「ポイント」です。

このポイントがたくさん貯まると、「特典航空券」を発券できます。

つまり、飛行機に無料で搭乗することが可能になります。

例：ANAマイルの場合（レギュラーシーズン）

- ・ 1万ANAマイル：東京-石垣の片道が無料
- ・ 1.5万ANAマイル：東京-福岡の往復が無料
- ・ 1.5万ANAマイル：東京-韓国の往復が無料（エコノミー）

- ・ 5万ANAマイル：東京-韓国の往復が無料（エコノミー）

- ・ 6.5万ANAマイル：東京→ニューヨーク→ロンドン→東京と世界一周（エコノミー）

- ・ 10万ANAマイル : 105,000ANAマイルで上記旅程で世界一周 (ビジネスクラス)
- ・ 12万ANAマイル : 東京-ハワイ往復 (ファーストクラス)

このように、マイルがたくさんあればあるほど、

- ・ より遠くの目的地へ、
- ・ より快適なクラスで、

移動することが可能になります。

1マイルの価値は何円？

上記で、目的地により必要なマイル数が異なり、より遠くの目的地へ行くほどたくさんのマイルが必要になることをお伝えしました。

でも、マイルは現金ではないので、どれだけお得になったのかを実感することは難しいですね。

そこで、同じ目的地までのフライト代を、現金で支払った場合と比較することでマイルの価値を実感しましょう。

例：羽田-名古屋間のANAエコノミークラスの必要マイル数
(片道)

- ・ ローシーズン : 5,000ANAマイル
- ・ レギュラーシーズン : 6,000ANAマイル
- ・ ハイシーズン : 7,500ANAマイル

一方で、同じ区間を現金で支払った場合、

- ・ ローシーズン : 約9,300円
- ・ レギュラーシーズン : 約9,300円
- ・ ハイシーズン : 約9,800円

つまり、羽田-名古屋をANAエコノミークラスで往復する場合には、

- ・ ローシーズン : 1マイル = 約1.86円
- ・ レギュラーシーズン : 1マイル = 約1.55円
- ・ ハイシーズン : 1マイル = 約1.36円

の価値を発揮できることになります。

次に、同じ目的地までのフライトを、異なる座席シートで搭乗した場合を考えてみます。

例：羽田-ホノルルをANA便（レギュラーシーズン）で往復する場合の必要マイル数

- ・エコノミークラス40,000ANAマイル
- ・ビジネスクラス65,000ANAマイル
- ・ファーストクラス120,000ANAマイル

一方で、同じ区間を現金で支払った場合、

- ・エコノミークラス88,000円
- ・ビジネスクラス448,000円
- ・ファーストクラス153,4000円

つまり、羽田-ホノルルをANA便（レギュラーシーズン）で往復する場合には、

- ・エコノミークラス：1マイル＝約2.2円
- ・ビジネスクラス：1マイル＝約6.89円
- ・ファーストクラス：1マイル＝約12.78円

の価値を発揮できることになります。

1マイルの価値は常に変化する

さて、ここで注目して欲しいのは、「マイルの価値は変化する」ということです。

もっと言えば、マイルには得する使い方と損する使い方があるということです。

これは、上記の例を確認してもらえればすぐにわかります。

羽田-名古屋をANAエコノミークラスで移動する場合には、

- ・ローシーズン：1マイル＝約1.86円
- ・レギュラーシーズン：1マイル＝約1.55円
- ・ハイシーズン：1マイル＝約1.36円

同じ路線、同じ座席クラスのフライトでも、シーズンごとに1マイルの価値は異なることがわかります。

さらに、羽田-ホノルルをANA便（レギュラーシーズン）で往復する場合には、

- ・エコノミークラス：1マイル＝約2.2円
- ・ビジネスクラス：1マイル＝約6.89円
- ・ファーストクラス：1マイル＝約12.78円

同じ路線、同じシーズンのフライトでも、座席クラスごとに1マイルの価値は異なることがわかります。

どちらも、「無料」で移動できることには変わりありません。

しかし、現金換算にした時に、IANAマイル単位の発揮するパフォーマンスが全く違うのです。

つまり、使い方次第でマイルの価値は

- ・大きくなったり
- ・小さくなったり

常に変化するということです。

このように、マイルの価値は

- ・目的地までの距離
- ・シーズン
- ・座席クラス

によって複雑に変化するため、最も効率よく使うためには多少の知識を必要とします。

このことが、マイルがとっつきにくい理由の一つとなっているものと思われます。

マイルはなるべく1マイルあたりの価値が最大化するような使い方が大切です。

なお、このマイルの「使い方」に関しては、後の章でも詳しく触れます。

ここでは、マイルには

- ・得する使い方
- ・損する使い方

があるということを知っておいてください。

マイルは飛行機に乗らないと貯まらないのでは？

多くの場合、「マイルは飛行機に乗って貯めるもの」というイメージが大きいかもしれませんが。

確かに、たくさん飛行機に搭乗することでより多くのマイルを貯めることができるのは事実です。

しかし、マイルを貯めるための方法論として、「たくさんフライトする」ことだけを選択することは間違いです。

結論から言えば、飛行機に乗らずともたくさんのマイルを貯めることは可能だということです。

また、マイルは「貯まりにくい」というイメージも、マイル活動に参入するのを妨げる要因の一つかもしれません。

私もマイルについて勉強し始めた当初は、「マイルは飛行機に乗って貯めるもの」というイメージを抱いていました。たくさん飛行機に乗る人が優遇され、より多く貯まるイメージです。

確かに、普段から飛行機にたくさん乗るような生活スタイルの人（例えば出張族など）であれば、その回数や距離に応じてたくさんのマイルを貯めることが可能でしょう。

しかし実際には、大部分の人はこのような生活とは無縁でしょうし、むしろ、飛行機に乗らなくてもマイルは貯められます。

極端に言えば、1度も飛行機に乗らずともファーストクラスに乗れるほどの膨大なマイルを貯めることも可能なのです。

マイルを貯める活動をしている人、いわゆる「マイラー」は、その生活スタイルで大きく2つに分けることができます。

- 1.空マイラー
- 2.陸マイラー

「空マイラー」は、出張や旅行などで日常で飛行機や空港を利用する機会が多い人のこと。

主に飛行機の搭乗やそれに関連するサービスの利用で付与される方法をメインにマイルを貯めている人のことです。ただし、先ほども述べたように、こういった環境やライフスタイルにいる人は稀でしょう。大部分の人は、もう一方の「陸マイラー」に属すると考えられます。

「陸マイラー」は、飛行機に乗らずにマイルを貯めている人のことです。

普段は仕事や家事をしながら、月に数度もしくは年に数度、旅行に出かけるようなライフスタイルです。

使うクレジットカードにこだわったり、ポイントサイトの利用など、普段の日常生活の中に一工夫を加えることで効率的にマイルを貯めています。

「陸マイラー」でも無料でファーストクラスに乗ることは可能

ここで注目したいのは、圧倒的大多数が「陸マイラー」であることです。

生活上の制限のために旅行に出かける機会が少ないだけで、国際線をファーストクラスで往復できるような膨大なマイルを保有しているマイラーもたくさんいます。

つまり、マイルの貯め方において

- ・飛行機に乗るかどうか
- ・マイルが貯まるかどうか

この2点は関係ないということになります。

この、「マイルの貯め方」に関して具体的には、次の章で詳しく紹介します。

マイルを貯めるにはお金がかかるの？

上記で紹介した「マイルは飛行機に乗らないと貯まらないのではないか」に関連するイメージとして「マイルを貯めるにはお金がかかりそう」というイメージがあるかもしれません。

この点に関して結論から言えば、「マイルを貯めるのにお金は必要ない」ということが言えます。

正確に言えば、「工夫次第で無料でマイルを貯められる」ということになります。

次の章で詳しく解説しますが、マイルには様々な「貯め方」があり、その中には無料で貯められる方法も、出費が必要な方法もあります。

しかし、これらのうちどの方法を選択するかは、活動するマイラーのライフスタイル次第だし、工夫次第なのです。

マイルを貯めるには、「知識」が必要です。

そしてさらに、無料で貯めるには「工夫」が必要です。

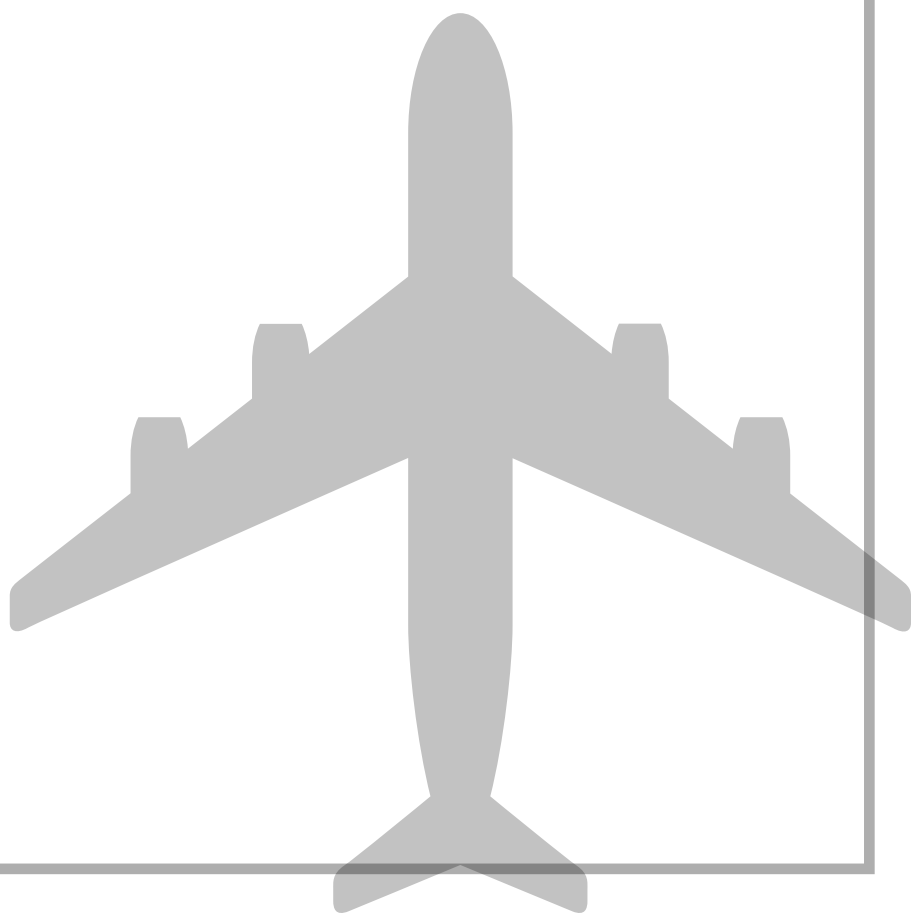
例えば、普段使いのクレジットカードを変えたり、マイルが貯まりやすいサービスを利用したりなどです。

ただし、その過程で必要な出費の有無や大小を決めるのは、あなたの選択であり工夫次第となるのです。

また、その後の楽しく優雅な旅行を、無料に近い形で実現できるメリットを考えれば、日常の工夫に費やす労力など大きな障害にはならないでしょう。

第2章

マイルの使い方



マイルを貯めるのは難しい？

マイルがとっつきにくい理由として、マイルを貯めるのは面倒だというイメージがあるからかもしれません。

しかし、マイルの貯め方において「簡単か難しいか」という議論は正しくありません。

実は、マイルを貯める方法は無限にあり、その手法は初心者レベルから上級レベルまで多岐に渡ります。

つまり、

- ・簡単にすぐに貯まる方法
- ・手間暇をかけてコツコツと貯める方法

あるいは、

- ・初心者レベルの方法
- ・上級者レベルの方法

いずれを選択するかは、マイラー次第というこのになります。

ライフスタイルに合った貯め方を選択する

ここで重要なのは、「自分のライフスタイルにあった方法を選ぶ」ことです。

マイルの貯め方で意識したいのは、

- ・ 日常に負担がない貯め方であること
- ・ できるだけ効率的な貯め方であること
- ・ 継続して活動できる貯め方であること

です。

先ほど紹介したように、マイルを貯めるには無限の方法があります。

これらの方法の中から、自分の生活スタイルに沿った手法を選ぶことが大切です。

マイルを貯めるという目的達成にこだわるあまり普段の生活に無理な負担をかけるような方法では活動を長く継続できません。

一方で、海外旅行やファーストクラスなど、より多くのマイルを必要とする旅行を目標にしている場合、あまりにも貯まるスピードが遅ければいつまでも旅行に出かけることができなくなります。

このように、

- ・マイルの貯まるスピードと効率性
- ・ライフスタイルとの適合性

この2つのバランスを上手に配分することが大切です。

また、上記のバランスを上手にとるためにはマイレージプログラムの「ルール」を理解しているかどうかも重要な要素となります。

基本的なルールを理解することで、自分のライフスタイルに合った適切なマイルの貯め方を選ぶことができるようになります。

フライトでマイルを貯めるのは現実的ではない

度々お伝えしていることですが、マイルを貯めるには無限の方法があります。

この中には最もオーソドックスで、最も簡単な方法である「飛行機に乗ってマイルを貯める」方法があります。

しかし、フライトでマイルを貯める方法というのは、現実的ではありません。

各航空会社のマイレージプログラムには、飛行機のチケットを購入し、そのチケットの目的地までの距離と搭乗クラスに応じて、マイルが付与される仕組みがあります。

しかし、第1章でも述べたように、この方法は万人が選択できる方法ではありません。

なぜなら、この方法でマイルを貯め、特典航空券を発券できるようになるまでには、多くのフライト回数を必要とします。

つまり、かなりの出費と時間を必要とするということになります。

このようなライフスタイルを選択できるのは、よほどの出張族か普段から旅人しかいません。

お勤めや家事などの一般的な生活をしている場合には、このようなライフスタイルとは無縁の生活であることと思います。

マイルは何度でも貯めることができる

マイルを貯めることができるのは一度きりではありません。何度でも貯めることができます。

ただし、継続できるかそうでないかは、マイラーが選択する「方法」によります。

- ・簡単に貯まるが単発である方法
- ・難易度が高いが継続性が高い方法

それぞれメリットとデメリットがあります。
どちらの方法を選択するかについても、

- ・マイルの貯まるスピードと効率性
- ・ライフスタイルとの適合性

のバランスを考えながら実践することになります。

どうやってマイルを貯めればいい？

では、具体的にどうやってマイルを貯めればいいのでしょうか？

何度もお伝えしているように、マイルを貯めるには無限の方法があります。

初級レベルから上級レベルまで多岐に渡ります。

以下に、マイルを貯めるための代表的な8つの方法を紹介
します。

マイルを貯める代表的な8つの方法（ANAマイルの場合）

1. クレジットカード決済で貯める（初級）
2. クレジットカードの入会キャンペーン・継続（初級）
3. ポイントサイトで貯める（初級）
4. ANAの飛行機やホテル予約を使う（初級）
5. 購入する（初級）
6. ポイントサイトを紹介する（上級）
7. クレジットカードを紹介する（上級）
8. ブログ運営で貯める（上級）

これらの他にも無数に存在します。

インターネット上で情報収集する時には、紹介されている
方法が上記のどれに該当するのかを意識することで、自分
に合った方法かを確認できたり、また、まだ試したこと
のない方法に新しく挑戦することも可能になります。

例えば、「飛行機に乗ってマイルを貯める方法」は上記の4番にあたります。

飛行機のチケットを購入することで、搭乗距離や搭乗クラスに応じてマイルが付与されることになります。

また、ここに紹介した以外でもたくさんの方がありますので、効率的で、かつ自分のライフスタイルにに適した方法を模索してみるのが良いでしょう。

マイルの攻略は「ポイントからの交換」

上記で紹介した方法の中には、

- ・直接マイル口座に貯まる方法
- ・他ポイントからマイルに交換する方法

が混在しています。

例えば、最もオーソドックスなのが、「フライトでマイルを貯める」方法です。

これは、直接自分のマイル口座に貯まる方法に分類されます。

一方で、他ポイントからマイルに交換する方法もあります。そして、マイルの貯め方を攻略する上で重要になるのは、「ポイントからマイルに交換」する方法です。なぜなら、この方法の中には

- ・即時に
- ・無料で
- ・大量に

マイルを貯めることができる方法がたくさんあるからです。

例えばこの方法の代表的な例として、「ポイントサイトのポイントをANAマイルに交換する方法」があります。マイルを貯める入門編としては最も有名で最適な方法です。

ポイントからマイルに交換するための重要な3つのルール

マイルの貯め方で「ポイントからマイルに交換する方法」は重要な方法の一つであること、マイルに交換できる「ポイント」はたくさんあること、は、上記でお伝えしました。

ここで、ポイントからマイルに交換する際に重要な2つのルールについてお伝えします。

膨大なポイントの中から、最も効率的にマイルに交換できる「ポイント」を探し出すための重要な要素です。

それは、

- 1.交換ルート
- 2.交換率
- 3.交換上限

です。

「交換ルート」は、各ポイントから目的の航空会社のマイルに交換するための交換の道のりです。

実は、同じポイントから同じエアラインのマイルに交換するためのルートは何通りも存在することがあります。

1回で直接交換できる場合もあれば、いくつものポイントを経由しなければならない場合もあります。

なるべく最短で、なるべく交換率の高いルートを選択していくことになります。

この「ルート」に正解はありません。

自分が貯めやすいポイントと目的のエアラインのマイルをつなぐ道のりで最適だと思うルートを選ぶことになります。

「交換率」は、各ポイントから目的の航空会社のマイルに交換するための交換比率です。

全ての貯めたポイント1ポイントを1マイルに交換できれば簡単なのですが、各交換ルートごとに交換比率が異なるのです。

できるだけ高い比率で交換できるようなルートを探っていくことになります。

ポイント→マイル＝1：1が基本となりますが、

ポイント→マイル＝1：0.8になったり

ポイント→マイル＝1：2になったるする場合があります。

また、マイル交換までに複数のポイントを経由する場合、ポイント同士の交換比率が変わる場合があります。

ポイント→ポイント＝1：1が基本となりますが、

ポイント→ポイント＝1：0.8になったりなど

の場合があります。

この「交換率」は無数に存在します。

「交換上限」は、ポイントからポイント、もしくはポイントからマイルへの一定期間内に交換できるポイント数の最大値です。

1ヶ月の交換上限：3万ポイント

1年の交換上限：4万ポイント

など、各ポイントによって

- ・ 期間
- ・ 上限ポイント

の値が異なります。

制限が全くない場合もあります。

「ルール」は常に化する

これは後述でも触れることですが、「ルール」は常に変わるということを覚えておかなければなりません。

ポイントを運営する会社の都合で上記3つのルールは変化します。

一つの「方法」に依存しない

また、マイルを貯める上で「一つの方法に依存しない」というのも意識したい要素です。

逆に言えば、「複数の方法を組み合わせて貯める」ことをお勧めします。

なぜなら、上記でお伝えしたように、マイルを貯めるための「ルール」は常に変化します。

もし、一つの方法だけに依存していてその方法が不可能になった場合、目標への到達が大幅に遅れることになるからです。

「継続性」の観点によるマイルの貯め方の分類

マイルの貯め方を継続性の観点から分類すると、

- 1.即金単発型（短期的）
- 2.権利継続型（長期的）

に分けられます。

即金単発型は、例えばポイントサイトの案件を1回1回こなしていくような貯め方です。

効率よくポイント（マイル）を貯められる一方で、活動の手を止めてしまうとマイルは貯まらなくなります。

時給仕事の貯め方、短期的な貯め方だということができます。

行動すればするだけ、目に見えてすぐマイルが貯まるため、初心者向きな方法と言えます。

一方で、権利継続型は上級者向きの貯め方です。

その代表的な方法として「ブログ運営でマイルを貯める」方法があります。

この方法は、ブログでポイントサイトなどを紹介し、得られた紹介者ポイントをマイルに交換する手法を採用します。

この方法のメリットは、一度マイルが貯まる仕組み（ブログ）を作ってしまうえば、アクセスがある限り自動的にマイルが貯まっていく点です。

ポイントサイト案件のように、案件探しをして、案件をこなす、というような時給労働的手間を省くことができます。

しかも、ある程度安定的・継続的・権利収入的にマイル獲得を計算できます。

レバレッジ（てこの原理）をかけて工夫すれば、一度に数十万単位の大量のマイルを獲得することも可能になります。

しかしその一方で、このような「仕組み」を作るには知識とスキル、手間と時間がかかります。

初心者にはオススメできません。

長期的な視野が必要な、上級者向きの方法と言えます。

最終的にはぜひブログ運営でマイルを貯める方法に挑戦してみてくださいと思います。

全ての方法にはメリットとデメリットがある

このように、全てのマイルの貯め方には、メリットとデメリット、特徴があります。

初心者向きと上級者向きの方法があるのです。

これらの特徴を見極めて、複数の方法を組み合わせてマイルを貯めることにより、活動が継続しやすくなります。

グラデーションを描くように手法を変えていく

オススメなのは、活動初期とそれ以後で手法を変えたり組み合わせたりしていくことです。

活動初期：即金単発的に貯める方法

↓ 組み合わせながら、グラデーションを描くように

上級者：仕組みを作って権利継続的に貯める方法

例えば、活動初期には即金単発型の方法を採用し、なれるまでこれを継続していきます。

ある程度慣れてきたら、もう一方で権利継続的な方法も取り入れていくようにするのです。

単発的な手法から継続的な手法へと、グラデーションを描くように、手法を変えていくと良いでしょう。

マイルの「ルール」は常に変わる

先にもお伝えしましたが、マイルを貯める上で覚えておきたいのは、「マイルのルールは常に変わる」という点です。

ここでいう「ルール」とは、

- 1.交換ルート
- 2.交換率
- 3.交換上限

などのことです。

結論から言うと、マイルはどんどん貯めにくくなります。マイルを貯める条件がどんどん悪化する傾向にあるということです。

例えば、2018年4月1日からの通称「ソラチカルート」の閉鎖事件がありました。

これまで多くの陸マイラーが使ってきた、ポイントサイトからANAマイルへの交換ルートである「ソラチカルート」が、突然使えなくなったのです。

その原因は、「ポイントサイト」から「メトロポイント」への交換停止というものでした。

この場合、交換そのものが停止されたのですから、そのルートは使えなくなることを意味します。

ですので、別の新しいルートを探さねばなりません。

この事件は、陸マイラーにとって大きな打撃でした。

この方法一択で活動していた陸マイラーの中には、活動そのものを諦めてしまった人もいるかもしれません。

このように、「交換率」「交換上限」「交換ルート」などの条件は、主催者の意向でいつでも変化する可能性があります。

私たち一般の陸マイラーにはコントロールすることのできない条件なのです。

こういった傾向から言えることは、マイルを貯める者は、常にルールの変更にも備える必要があるということです。

マイラー活動は、常に改悪との戦いなのです。

マイルを「貯める」のも「使う」のも、早い方がいいでしょう。

また、これに加えて、上記でもお伝えしたように

- ・複数の方法を組み合わせる
- ・一つの方法に依存しない

という前提を忘れてはいけません。

一つの方法に依存した結果、その方法が不可能になった場合、マイルの蓄積がストップしてしまいます。

その結果、目標までのマイルを貯めるのが遅れてしまいますし、最悪の場合には、マイル活動を諦めざるを得ない結果になります。

さらに、長期的にマイル活動を継続するには、自分のライフスタイルに適した貯め方を選択する必要があります。これらのことを総合的にまとめると、マイルを貯めるには

- ・ライフスタイルに合わせた方法を選択し、
- ・複数の方法を組み合わせながら、
- ・継続的に行う

ということが重要と言えます。

どの航空会社のマイルを貯めればいいのか？

初めてマイルを貯め始めるにあたって気になるのが、「どのエアラインのマイルを貯めるのが良いのか？」という悩みです。

この悩みを解決するには、各航空会社のマイレージプログラムの仕組みについて大まかに知っておくのがいいでしょう。

例えば、日系のエアラインの代表的なものに、ANAとJALがあります。

そして、ANAとJALのマイレージプログラムには違いがあり、

- ・目的地までの必要マイル数
- ・クラスごとの必要マイル数
- ・開設されている路線
- ・提携航空会社
- ・ポイントからのマイルへの交換率、交換ルートなど

それぞれの項目において異なります。

これらの観点から総合的に考えて初心者が一番最初に貯めるマイルとしてオススメなのはANAマイルです。

その理由としては、

- ・マイルを貯める方法がシンプルかつたくさんある
- ・必要マイル数が比較的少ない
- ・日系エアラインなのでトラブルがあった時に日本語で対応できる
- ・海外のメジャーなエアラインとのマイレージ提携がある

というものがあります。

最初は一つのエアラインに絞って貯めるのがオススメ

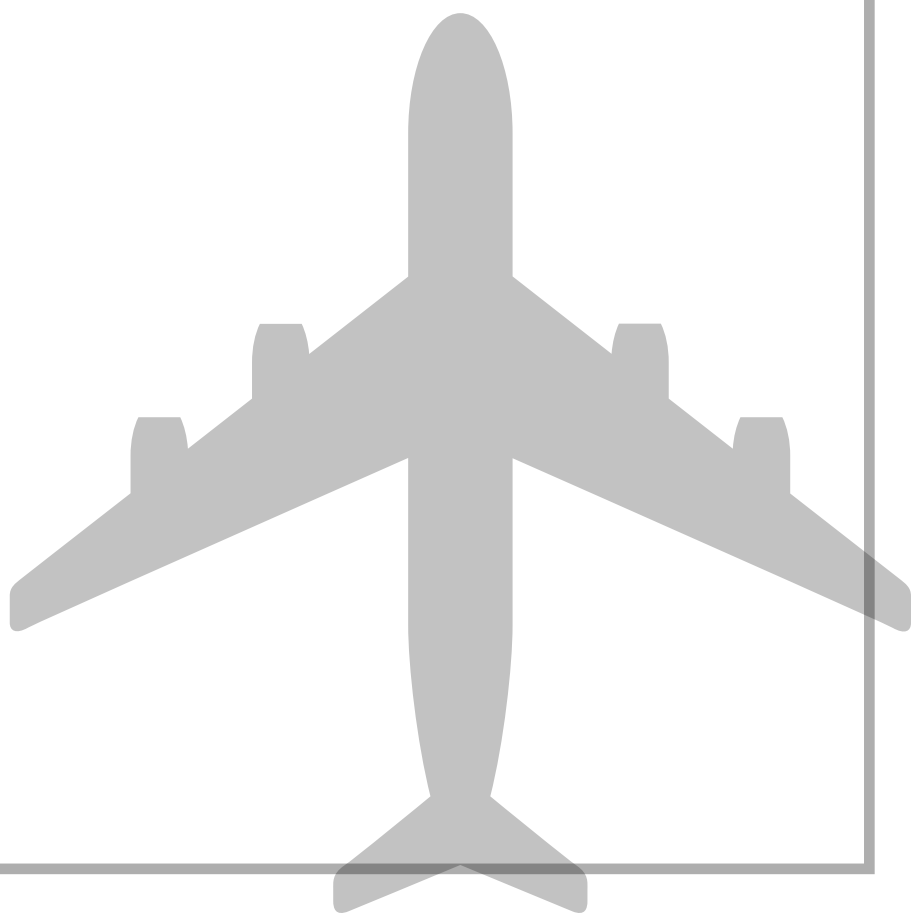
マイル活動の初期段階では、一つのエアラインに絞ってマイルを貯めることをオススメします。

なぜなら、複数のエアラインに中途半端に分散させてマイルを貯めてしまうと、どれも必要マイル数に満たず、特典航空券を発券できないという事態になりかねないからです。

はじめは一つのエアラインに絞って貯め、慣れてきたらだんだんと幅広い種類のマイルを貯めていくのがいいでしょう。

第3章

マイルの使い方



第3章では、マイルの「使い方」について紹介します。

貯めたマイルは使ってこそ、そのメリットを発揮します。ただ、マイルは「貯める」よりも「使う」方が難しいと言われています。

その理由は、

- ・ 同じ目的地でも航空会社で必要マイル数が異なること
- ・ 航空会社によってサービスの特色や質が異なること

などの違いによるものです。

マイルに慣れてくると、航空会社ごとに特色やサービスの違いがあることがわかってきます。

それに伴い、好みの航空会社、ひいきの航空会社というものがでてきます。

この時に、「どのエアラインのサービスを利用するか」というワクワクする悩みが発生するのです。

知識が増えるごとにお得な選択肢の幅が広がるため、自分なりの選択基準が求められるのです。

「貯める」時には「なるべく効率的に」「なるべくたくさん」という2つの軸だけで考えればよかったのですが、「使う」時には「なるべく少ないマイル数で」「なるべく遠くの目的地まで」「なるべく上質なサービスで」という3つ

の軸になりますので、さらに複雑な選択をせまられることになります。

マイルの価値を最大化して使うための2つの原則

第1章でもお伝えしましたが、マイルの価値は使い方によって変化します。

そのため、価値が最大化するような使い方が求められます。

大まかに、

1：国内線（短距離）よりも国際線（長距離）の方が1マイルの価値を大きくでき、お得な使い方ができる傾向にあります。

2：エコノミークラスなどの低価格な座席シートの予約に使うよりも、ビジネスやファーストクラスなどのより高級な座席の予約に使用する方がマイルの価値を最大限に活かせる傾向にあります。

全ての場合で必ずしもこのようになるとは限りませんが、覚えておくと便利です。

マイルの得する使い方・損する使い方

マイルには「得する使い方」と「損する使い方」があります。

時には、現金でチケットを購入する方が良い場合もあります。

マイルの価値を最大限に発揮して使うために、以下のことを目安として覚えておくといいでしょう。

- ・マイルの価値は平均で1マイル = 2円

マイルの価値は1マイル = 2円が平均と言われています。これよりマイルの価値が下回るような場合、「損する使い方」となり、現金でチケットを購入した方がよい場合があります。

- ・1マイル = 1円以下になることもある

1マイルの価値が1円以下になることもあります。この場合も、現金でチケットを購入した方がお得に飛行機に乗れるということになります。

- ・ 1マイル=10~15円になることもある

その一方で、1マイル=10~15円というハイパフォーマンスで使うこともできます。

国際線のファーストクラスなどに利用する場合にこのようになることが多いです。

概ね、

国際線ファーストクラス > 国際線エコノミー > 国内線

というようになります。

このような使い方ができると、マイルを貯めるメリットがより増しますね。

各航空会社でマイルを使う前に抑えておくべき3つの前提

マイルを使う主な目的は、多くの場合、特典航空券で無料で空の旅を楽しむことです。

事実、大量のマイルがあった方が快適で優雅な空の移動を早く実現することができます。

しかし、一概に「マイルを貯めるならどこのエアラインでもいい」というわけではありません。

気をつけないと、せっかく貯めたマイルを有効に使えないとこともあります。

時間と労力をかけて貯めたマイルを確実に、しかもお得に使いこなすためにも、以下の3つの点に留意してマイルを使いましょう。

- 1.分散させずに同じ航空会社のマイルに集中して使う
- 2.頻繁に利用する航空会社、もしくはそれと提携しているマイレージプログラムを選んで使う
- 3.特典航空券の交換までに必要なマイル数が少ない航空会社を選んでマイルを使う

以下で、それぞれ解説していきます。

- 1.分散させずに同じ航空会社のマイルに集中して使う

これは、マイルの「貯め方」でも紹介した考え方です。

世界には数え切れないくらいのエアラインがあり、それぞれが独自のマイレージプログラムを運営しています。

各エアラインのマイレージプログラムによって、マイルの積算率・有効期限・特典航空券への必要マイル数などが異なります。

あまりにたくさんの航空会社のマイルに分散し過ぎるとなかなか貯まらないことになります。

そのため、特典航空券の交換に必要なだけの十分なマイル数がたまらずに結局使えない、などという本末転倒なことが起こってしまいます。

また、そうこうしているうちに有効期限が切れてしまうことにも繋がりがねません。

できるだけ、同じエアラインのマイルに集中して使うことが効率的です。

2.頻繁に利用する航空会社、もしくはそれと提携しているマイレージプログラムを選んでマイルを使う

マイルは、できるだけ頻繁に利用する提携航空会社のマイルを選んで使うのががオススメです。

そうすることでマイルを貯める航空会社が分散されずに済みます。

3.特典航空券の交換までに必要なマイル数が少ない航空会社を選んでマイルを使う

特に海外旅行をする時に気をつけたいのが、同じ出発地と目的地の空港への路線でも、複数のエアラインによるフライト便が運行されている場合があります。

また、コードシェア便の場合、同じ出発地と目的地であったとしても、その区間の特典航空券に必要なマイル数は航空会社によって異なるものです。

さらには、ファーストクラス・ビジネスクラスに乗るために必要なマイル数も、どの航空会社のマイレージを選ぶかによっては数万マイルもの差がある場合もあります。

この時に、できるだけ少ないマイル数で乗れる航空会社を選ぶことが重要です。

そうすれば、常に少ないマイル数で済み、マイルを効率よく使うことができるということになるからです。

この違いを事前にリサーチしておくことで、あなたの夢の実現が早まります。

陸マイラーにとっての3つの選考ポイント

マイルを効率よく使うために、陸マイラーがマイレージプログラムを選ぶ上で重視すべき、3つのポイントを紹介します。

- 1.利用期限が無期限であるか？
- 2.貯めたマイルを簡単に無料航空券に交換できるか？
- 3.クレジットカードのポイントを効率良く交換できるか？

これらのポイントを意識するのとしらないのとでは、マイルの使い方に大きな差が生じることになります。

一見すると些細なことに思えますが、効率よくマイルを使うためにはぜひ確認しておきたいものですね。

1. 期限が無期限であるか？

各航空会社のマイレージプログラムには

- ・有効期限あり
- ・有効期限なし

の2つの種類があります。

例えば、日本人に人気のANAマイレージクラブ、JALマイレージバンクは有効期限が3年となっています。

その間に、必要数のマイルを使って、特典航空券に交換しなければなりません。

そうでなければ、せっかく貯めたマイルも期限が切れると無効になります。

その一方で、条件付きで無期限にできるマイレージプログラムもあります。

マイルの期限が無期限になれば、自分のペースで貯めて、好きな時に特典航空券に交換できるので、マイルを使うときの自由度がアップします。

陸マイラーにとって、使うマイルが「無期限」であることは大事なポイントです。

2.貯めたマイルを簡単に無料航空券に交換できるか？

貯めたマイルを簡単に使える環境であるかどうかも重要な選定ポイントです。

せっかく貯めたマイルも、簡単に特典航空券に交換できなければ意味がありません。

航空会社や時期によっては、お目当の特典航空券に交換できないこともあります。

マイルを特典航空券に交換しやすいかどうかも大事な選考ポイントです。

3.クレジットカードのポイントを効率良く交換できるか？

陸マイラーがマイルを貯める方法の一つとして、クレジットカードのポイント還元で貯めたポイントをマイルに交換する方法があります。

この時に、簡単にマイルとして使うためにも、マイルへの交換作業がスムーズに行うことができるかどうかが大事です。

日々の生活でよく利用する分野なので、できるだけ手軽でスムーズに利用できる環境にしたいものです。

同じ目的地なのにJALよりもANAよりも少ないマイル少ないマイルでフライトできる「ブリティッシュエアウエイズ」

ここで、「同じ目的地なのにエアラインによって必要なマイル数が異なる」という具体例を紹介します。

代表的な例が、「JALの国内線をブリティッシュエアウエイズ（BA）のマイル（Avios）で予約する」という方法があります。

結論からお伝えすると、「本家JALマイルでJALの国内線特典航空券を発券するよりも、BAのマイルでJALの国内線特典航空券を発券する方が少ないマイル数で断然お得に発券できてしまう」ということです。

実は、BAとJALは同じグローバルアライアンスのOne World（ワンワールド）に加盟しています。

そのため、BAのマイルを使ってJALの特典航空券が発券できる仕組みになっています。

BAは短距離特典航空券の必要マイル数が少ないので、BAマイル（Avios）でJAL国内線特典航空券を発券する場合、ほとんどの区間が往復たったの9,000マイル（東京発着の場合、那覇は15,000マイル）で発券できてしまいます。

例えば、「羽田-福岡」路線における、片道での特典航空券に必要なマイル数は以下ようになります。

- ・ BAマイル : 片道4,500マイル
- ・ JALマイル : 片道7,500マイル

BAの場合の必要マイル数は、本家JALで発券した時よりも3,000マイルも少ないマイル数でいいということになります。

つまり、国内線往復においては、本家JALよりも、BAのマイル（Avios）を使った方が少ないマイル数でフライトが可能になるということです。

このように、マイルの「使い方」には

- ・得する使い方
- ・損する使い方

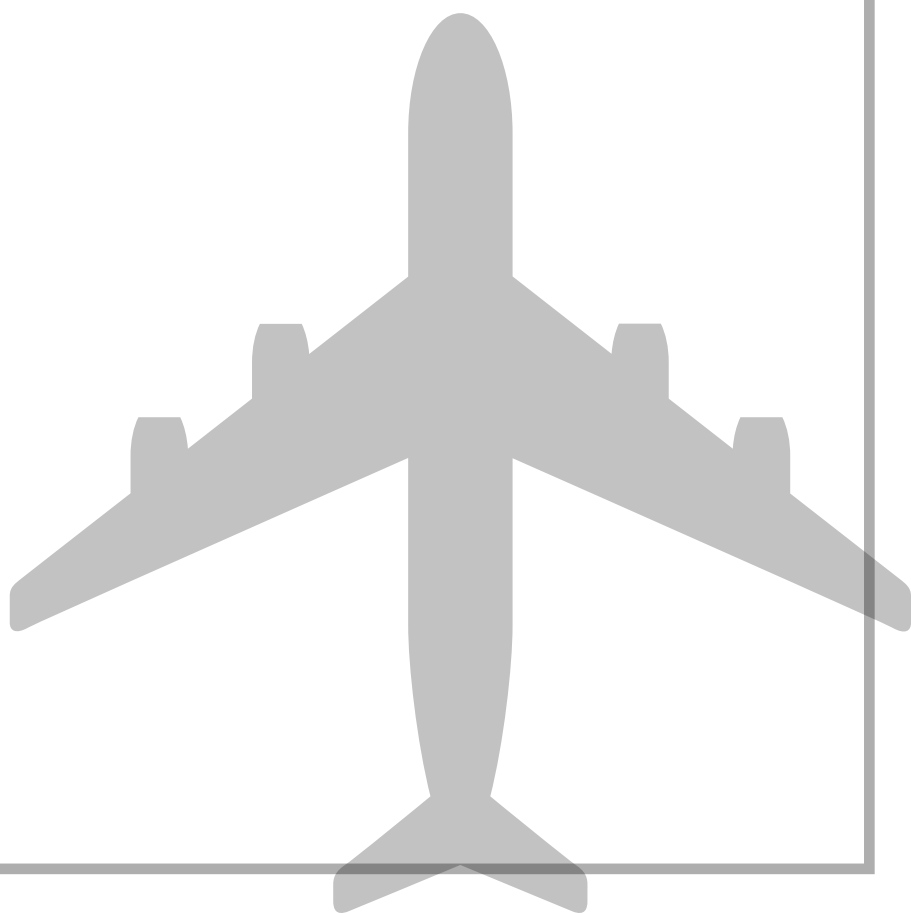
があるのです。

しかもやっかいなことに、知識が増えれば増えるほど選択肢も増えるため、最適な使い道を求めて迷ってしまう傾向にあります。

このため、最初にお伝えしたように「最初は1つのマイルに絞って貯める」というのがオススメなのです。

第4章

マイルの可能性



パスポート。エアチケット。クレジットカード。
略して「PAC」。
何を忘れようとこれらさえ持っていれば旅は続けられます。

このうちの「P」すなわち、日本のパスポートは世界一の信用力を持つと言われていています。

「ビザ」なしで入国できる数の国は、なんと190カ国。
日本人というだけで得ることができの特権のようなものであり、世界の他の国々と比べても飛び抜けて恵まれた環境だと言えます。

さらに、マイルを利用することで、「A」すなわち飛行機代が無料になります。

無料で世界を飛び回ることも可能になります。

- ・ 無条件で
- ・ 自由に

世界を飛び回るができる「特権」を、我々は持っているのです。

この特権を活かして、家族とあるいは大切な人と、素晴らしい体験や思い出作りをしてみてください。

協会が気になりだしたら最初に読む本

初版 650円(税込)

平成31年1月25日 初版第1刷発行©

著者: 齋藤純司

〔検印省略〕

発行者: 東京都目黒区八雲2-1-23